平成 27 年 3 月 08 日
NPO 四季の森里山研究会
中島進市・渡部公・上野順二・宮下修一

春の芽吹きを探してみよう

○スプリング・エフェメラル

春の妖精たち。春のはかなきとも。春先に花を咲かせ、夏まで光合成を行って地下や種子に栄養分を蓄え、その後、春まで地下茎や球根で過ごす。代表的なものが、フクジュソウ、セツブンソウ、カタクリなど。フクジュソウはめでたい「福寿（幸福と長寿）」の草の意味。セツブンソウは節分のころに咲くというのが名の由来。カタクリは雪国では雪解けとともに芽を出し、いち早く花を咲かせる。昔から球根よりデンプン（片栗粉）を採取。

○ハナモモの話

モモの園芸品種で花がきれいなものがハナモモ。品種改良されたハナモモは八重咲きが多く、白、桃、紅、紅白に咲き分ける品種もある。バラ科サクラ属で原産地は中国。ハナモモの品種改良が進んだのは江戸時代。

○ウメの話

バラ科サクラ属。中国の長江流域が原産で、日本には 8 世紀に渡来したという説。日本に自生していたという説も。300 種以上の品種があり、野梅系、緋梅系、豊後系の 3 系統がある。

○サクラの話

サクラの語源には諸説あり。サクラは「咲く」に複数を意味する「ら」を加えたものとされ、元来は花の密生する植物全体を指したものという説。日本に野生するサクラは約 100 種ぐらいあるとされ、園芸品種も入れると 300 種以上で 6 群に分類。ヤマザクラ群、エドヒガン群、マメザクラ群、チョウジザクラ群、カンヒザクラ群、ミヤマザクラ群。

カンヒザクラ : カンヒザクラ群に属し、関東では 3 月中旬ごろ赤い花が咲く。
カンザクラ : カンヒザクラ群に属し、早咲きのサクラの中でも特に早く、3 月上旬まで咲く。色は淡紅色。

○森林ミニ講話

「森林は海の魚まで養ってくれています。」

（本日はご苦労様でした。次回は４月 12 日（日）１３時より自然観察会を行います。）